

1. 出題範囲
「2. 介護における尊厳の保持・自立支援」から「9. こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。
2. 出題形式
四肢択一形式
3. 出題数と配点方法
出題数は50問。
配点方法は1問2点（満点は100点）。
4. 合否判定基準
70点以上を合格とする。
5. 不合格になったときの対応方法
修了評価の結果判定後、不合格者に対して、補講（1時間）を実施の上、再評価を行う。合否判定基準は70点以上。補講料、再評価試験料は無料。

※出題範囲：科目の範囲、テキストの範囲等を記載する。

※出題形式：選択式、記述式等形式を記載する。

※出題数と配点：出題形式の数とその配点（合計は100点）を記載する。

※合否判定基準：基準点数を記載する。

※不合格対応：補講・再評価（いつ、時間数）を行うか。補講料・再評価料の有無と金額等を記載すること。